

# 常滑市都市計画マスタープラン策定委員会

## 第3回議事録（概要）

開催日時：令和元年5月23日（木）14時00分～16時00分

開催場所：市役所4階第3会議室

### 次第

---

#### 議題

1. 報告事項

第2回策定委員会での指摘と対応について（資料1）

2. 協議事項

「第5章 都市づくりの方針」について（資料2）

### 議事内容

---

#### ■第2回策定委員会の指摘と対応について

（委員）

『ボートレース場を生かした新しいまちづくり』ということで、全国的には何か事例があると思うが、イメージがつきにくいものであるため、いい事例を示していただけるといいのかなと思う。

（事務局）

徳島県の鳴門市で、ボートレース場と周辺のにぎわい等を踏まえた施設整備として、駐車場の一角に天然の温泉施設を誘致した事例がある。

（委員）

鳴門にはボートレース場だけではなく、すぐ近くにうず潮の公園等のいろんな観光施設があって、ボートレース場だけで成り立っているということではないと思う。そういったブランドと同じように、これからの常滑市が当てはまるということではないと思う。イメージが少し違う気がする。

（委員長）

競馬場も公営競技だが、近年は若い人に来てもらうとか、家族連れにも来てもらうことをできるだけオープンにして取り組んでいる。だから、ボートレース場においても賭け事に来る人だけではなくて、家族連れで楽しむといった工夫とボートレース場の外側との連携というのはあり得るかもしれない。今もボートレース場は、市の財政の一助を担っていることから、大切にしながら、市役所の跡地をどう活用するのかと合わせて検討をお願いしたい。

（事務局）

今、ボートレース場は、もう少しファミリー層も取り入れるような仕組みを検討しており、いろいろ試行錯誤して、今後どうしていくのか研究をしていると聞いている。それは、子どもも楽しめるような設えにする等、新しいことを採り入れていくと聞いている。よって、そうしたことと都市拠点一帯がうまく調和していけるといいかなということで、今回この記載をさせていただ

いているということでもあります。

(オブザーバー)

現在、新しいスタンドの計画がありまして、その中で市民開放型の公園も併設していくという計画であります。例えば、ボートが開催していないときでも入っていただけるようなものをつくらうと今考えています。

(委員長)

ボートレースで使っていないとき等は水面を使ってイベントをやってもいい。そういった連携の可能性を最初に計画段階で話し合うことができればいいと思う。

(委員)

都市拠点の展開イメージとして、歩いて楽しめるまちづくりを見据えた回遊性の強化や、市役所の跡地を通して常滑駅からりんくうビーチまで歩いていくという案は素晴らしいと思ったが、せっかく愛知県の国際展示場が空港にできるので、歩行者や自転車がその延長で空港までアクセスできる方法はないのか。

(事務局)

空港連絡通路については、今、有料で車のみが行き来できている。以前から市民より、無料化や自転車・歩行者が通行できるような別の歩道橋はできないかとかいう要望は、空港開港当時からあったかと思うが、なかなか実現には至らない。料金が以前と比べると半額になったが、新たに歩行者専用の橋を造るとなるとかなりのコストがかかり、なかなか10年先を見据えた都市計画マスタープランでは、非常に書きにくいと思う。

(委員長)

10年では難しいかもしれないが、空港には商業施設もあるので、やっぱり気軽に往復できると良い。次のステップとして、歩いて行くといった新たな移動手段をつくるのは大変だろうが、課題としてもらえたらと思う。

(委員)

ボートレース場の話に戻ってしまって申し訳ないが、市役所跡地についても、家族みんなで楽しめるような場所にするという計画なのか。

(事務局)

市役所の跡地を今後どうしていくかは、現時点で具体的に決まっていない。都市拠点の展開イメージとして書かせていただいたが、せっかくボートレース場が先程のような取り組みをしているので、市役所跡地も地域のために使えるものとして残せたらいいなという思いで書かせていただいた。

(委員長)

そのようなことを公募して事業化できれば素晴らしい。ぜひ楽しいものになるように、今から少し皆さん気に掛けていただけたらと思う。

(委員長)

私から一つ、『観光交流軸の展開イメージ』は分かりやすくなったと思うが、鉄道や自動車、他の公共交通等の移動手段は多様にあったほうがいいのかと思うので、合わせて記載をお願いしたい。

(オブザーバー)

同じ図において、空港利用者を都市拠点や「やきもの散歩道」周辺の観光交流拠点に誘導とあるが、説明文章の方にも国際展示場の利用者を入れたほうがいいのかと思う。あと、都市拠点

や「やきもの散歩道」周辺に限定して記載がされていますので、『北部、南部の観光交流拠点』という文言も入れていただいたほうがいいかなと思う。

## ■「第5章 都市づくりの方針」について

(委員)

下水道について、未整備区間の事業は、大変な事業だと思うが、隣町の美浜町は下水道工事を諦めて、いろいろと違う方法で取り組んでいる。今後、常滑市はどうしても整備を進めていくのか。特に、南の地域は人口減少が起きている中で、経費等もかさんでいくが、何か他の方法をよく検討したほうがいいと思う。

(事務局)

下水道部局とも調整し、南部は大谷地区までは下水道整備をやっていく方針であるということで、都市計画マスタープランの方針も同様の書きぶりとしている。

(委員)

『公園・緑地等』で、基幹公園の現在機能の維持・更新および利用増進を図ると書いているが、現状、利用増進され、市民の皆さんが近寄るような場所にはなっていないと感じている。今後、使わないから閉鎖しようとはまではいかないと思うが、せっかく公園があるのに中途半端なものになっていて、あまり使われてないような気がして仕方がない。例えば、半田の運動公園は、日曜日になると多くの人が集まっている。そこから5分の大曾公園は、静かで常滑市民としては寂しい。桧原公園も非常に緑も多いいい公園なんですけれども、なぜかあまり人が集まっている所がない。せっかくお金をかけている公園なので、利用増進というところで具体策はあるのか。

(事務局)

常滑公園については、一部未整備な所もあるものの、市の体育館がある辺りということで、体育館の利用者が多く、公園というより、体育館での利用で主に使われている。

次に大曾公園は、現在の機能の維持、更新および利用増進を図るところが、まさに大曾公園を意識して書いており、現在、指定管理者制度を導入して、民間の企業を入れて管理をやってもらっている。以前と比べるとかなり利用者も増えてきて、特に、隣接しているグリーンスポーツセンターではバーベキューやキャンプができる設えになっており、利用者も多く好評をいただいているというような状況である。この方針の中で一番の要点としては、今後、改修、維持、更新を図っていく必要があるのが屋外プールである。閉鎖してからしばらく放置されている状況となっており、その跡地の利用をどうしていくのかというのを含めて検討している最中である。その方針が決まれば、この都市計画マスタープランの位置付けを受けたかたちで、実施につなげていきたい。

桧原公園については、言われるとおりで、せっかく立派な施設があるのに、あまり認知度が高くない。今後、もう少し公園自体をPRすることをもっと考えていく必要があるかなと思っている。いい公園があるよということをまずは皆さんに認知していただいて、利用者の増加、増進につなげていきたいと思っている。

(委員)

市民の印象だと、日曜日は、大曾公園の野球場は車が多く、子どもを連れて遊びに行く際に危険を感じるという方もいる。また、行ってみるとサクラとかきれいで、野球場があっという間に、アクセス手段がない。立地的に少し山の中で、もう少し人が簡単に行けるような手段を考えてい

ただけたらと思う。

(事務局)

野球場の下の道路に車が並んでいるという光景はよく見かけ、対策を指定管理者にもお願いしているが、大きな大会があったり、また、今は屋内プールの利用者もかなりいるので、駐車場が不足している。指定管理者の努力で、近隣の企業の従業員駐車場を利用させてもらっている。市でも、使わなくなった市営住宅を解体して、駐車場に用途を変えて対応しているが、利用者の方が野球場など目的の施設に近い所に止めたりと、マナーが少し足りてなくて、近隣の方にはご迷惑をお掛けしているなどというところがある。

あと、公共交通については、以前は知多バスの路線に入っていたが、利用者が少なく、効率のことを考え、バス路線ではなくなってしまった。今後の利用者数との兼ね合いで検討の余地があればということになると思うので、公園の利用増進を図っていく必要があるかなと思う。

(委員)

公園へのアクセスに関する話があったが、りんくう常滑駅の北側広場は既に駅もあって、近くに商業施設があるので、りんくうビーチやその付近の緑地へのアクセスだけでなく、バス等でのアクセスについてうまく活用できる方針を書くことはできないか。

もう一つ、飛香台に市役所が移転することと、新しく半田市に病院ができることがある程度決まっているなかで、東西の道路については、病院ということで緊急輸送道路等をはじめとする道路に関する方針が出てくるべきなのか、その辺をお聞かせいただきたい。

(事務局)

一つ目のりんくう常滑駅の広場に関しては、記述のほうを検討させていただく。

二つ目の道路に関しては、市役所の移転については、市で、交通体系がどう流れるかという予測もしている。道路事業としては都市計画マスタープランの方針で記載がないと積極的に行っていけない面があるので、前向きにやっていきたい路線について記述させていただいているが、病院については、書く必要がある重点的な整備だとする位置付けがあるようであれば記載すべきだと思うので、担当部署に確認を取って検討する。

(委員)

西知多道路について「早期整備」と前回も同じ文言で書かれていたと思うが、もう整備中なので、「早期供用」と書かれたほうが、前向きだと思う。ただ、「都市計画道路の見直し」の最後に「必要に応じて見直しを検討します」と書いてあるが、検討を必要に応じてやるっていうのも、「必要に応じて見直しを行います」でいいという気がする。

それから、土地利用方針図で、空港とりんくう町が、工業・物流用地になっているが、多分状況とは違うし、説明部分において工業・物流用地は、いわゆる工業地のことしか書いていないので、説明文と図面が合っていないのではと思う。

(事務局)

西知多道路については、文言を訂正し、「都市計画道路の見直し」についても「見直しを行う」のが適当かなと思う。

それから、土地利用方針図については、現行の土地利用をベースに作成しており、特に市内でも空港の中の大規模展示場の周辺は、本来であれば商業系にしたいという意見もあったが、用途地域に合わせた土地利用方針図とするということで今回は示させてもらった。

(委員長)

土地利用方針について、もっと実情に沿って、少し意思を書いてもいいのではないかと意見をもらったので、もう少し検討していただきたい。

(委員)

今回の常滑市の都市計画マスタープラン改訂で、一番重要なことは国際展示場と市役所の移転だと思っている、その点について、次の10年の打ち出しが若干薄いかなというように感じている。常滑駅も、今は名鉄のミュースカイも通過していると思うので、せっかく国際展示場に多くの人が来るので、少しでもそれを市内で享受したいという思いがあると思うが、その辺があまり出ていないと感じる。また、展示場、都市拠点、市役所が移転する飛香台を結ぶ交通軸をもう少し方針として書いてもいいのかなと思う。

それと、将来都市構造図において、交流拠点が、国際展示場、やきもの散歩道、市役所とレベルが違うのにもかかわらず、同じ色で塗ってあるので分かりづらい。交流拠点のレベルを3つぐらいに分けて、もう少し書き込んだほうが良いと思う。それに関連して、公共交通について、半田の市民病院と連携のなかで、半田駅前から半田市民病院、常滑市民病院、常滑駅に来るような新しいネットワークができるのかなと感じているが、そのあたりの方針を記述してはどうかと思う。

(事務局)

まず、拠点表示については、国際交流拠点や観光交流拠点というように、拠点に関してのいろいろなことが文章には書いてはあるが、将来都市構造図を見ると表記が同じなので、検討して変えたいと思う。

国際展示場が来ることも課題として挙げている以上、目標となる部分についてももう少し書ければ書いていくようなかたちで検討していきたいと思う。

公共交通に関する計画は、常滑市で、今まさにやろうとしているところで、担当課とも協議のうえ、この表現にとどまるに至った。当然新しい市役所や病院への公共交通については、手厚くするように検討していくことになると思うので、記述についてはもう一度検討させていただく。

(委員長)

公共交通の方針図を追加で検討してもらいたい。

半田病院との連携でどこまで書けるか分からないが、相互の動きがあって、バス本数が増えることを期待されると予想される。それから、コミュニティバスが相互に常滑と半田を乗り入れすることができるように考えるのが公共交通である。そうすると病院のほうの意見もあるかもしれませんが、少し見通しもあり得ることだと思う。

(委員)

今の交通のことだが、空港には世界たくさんの方が来るので、知多半島全体で考えるのも一つかなと思う。常滑市だけっていうとなかなか動いていないので、空港から知多半島に出られるようなコミュニティバス等、簡単な移動でどこまでも行けるかたちがあると良い。特に、高齢者は名古屋市のように、フリーパスみたいなもので簡単に移動できるようになったらいいと思う。

(委員長)

観光で動き回る人に対して、公共交通はどうあるべきかというようなことがここで書き込まれれば、もう少し広がりを持って移動がサポートできるかもしれない。

(委員)

各市町にあるコミュニティバスを、広域連携できるように検討していくと良い。例えば、東海

市では、知多市とともに、西知多病院へ乗り入れしています。知多市のコミュニティバスが東海市に乗り入れしている。そういうことで乗り入れを許可し、半田市に行くといった広域連携をしていくといいと思う。

(委員長)

名鉄バスも大切なので、採算の取れる所はしっかり民間にやっていただき、コミュニティバスは採算の難しい所を市民サービスということで走ってもらって、それをしっかり支えていくって交通の仕組みをつくっていったら良い。

(委員)

道路の方針図で、都市計画道路の段階構成とその他の都市計画道路以外の国県道で分けているが、その国県道も道路網としての段階、レベルをどういうふうに位置付けるかっていうことが分かると思う。

また道路について、各ページの図によって表現箇所が、整合性が取れてないないので、整合を図ってほしい。

(委員)

土地利用の方針の「新市街地候補地区(産業系)」で、西知多道路周辺や久米、久米南部、大谷工業団地が、ポテンシャルの高い地区となっているが、具体的に物流関係の工場等を建てたいというようなニーズが常滑市にはあるのか。

(事務局)

今回、新市街地候補地区で斜線を付けさせていただいたエリアは、どこからか問い合わせがあるから付けたというものではなくて、市街化調整区域の中で20haぐらいの用地を確保していく必要があるだろうという予測の下に、市街化調整区域の中でポテンシャルの高い所をマークさせていただいた。この中からいろんな熟度が高まってきた所から、20haを目途に拡張していこうということで位置付けしたものであって、具体的にどこかで何か話があるっていうものではない。

(委員長)

ある程度市の財政が健全で、皆さんが幸せに生活していくためには、都市のアクティビティーとか活動性が維持できなければいけない。みんなが高齢者になって税金を使っては都市が衰退して何もできなくなる。ポテンシャルとしては、空港があり、国際展示場もあるので、条件はすごくいい。市全体で考えると、南部と北部の問題が少しあり、新しいインターができるので、市民にとっては北ばかりがということになるので、両方見据えながら計画を作っていきたいと思うところだと思う。

(委員)

セントレアがよく駐車場がないと聞くが、国際展示場ができることで、対岸部側に駐車場を確保したほうがいいという方針は盛り込む必要はないのか。

(事務局)

駐車場は、新たにどこか広げてというようなものではなく、既存の空き地を活用していくことになると思う。特に、ここでは公共交通の位置付けはするべきだと思うが、駐車場をどこかに確保するというのは、空港会社が考えると思う。一方、国際展示場では、かなりの駐車容量を確保する計画になっており、ピーク時が異なることから空港会社と国際展示場で相互利用していくというようなことを聞いている。

以上